

ブラックジャックで負けないための攻略方法

著作権について

ブラックジャックで負けないための攻略方法（以下、本テキストと表記）は、著作権法で保護されている著作物です。本テキストの仕様に関しましては、以下の点にご注意ください。

- ・本テキストの著作権は、『カズヤ』にあります。
- ・カズヤの事前の許可なく、本テキストの一部または全部をあらゆるデータ蓄積手段（印刷物、電子ファイルなど）により、複製、流用および転売（オークション含む）することを禁じます。

使用許諾契約書

本契約は、本テキストを入手した個人・法人（以下、甲と称す）とカズヤ(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。

本テキストを甲が入手し、開封またはダウンロードすることにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条本契約の目的

乙が著作権を有する本テキストに含まれる情報を、本契約に基づき甲が個人的使用に限り利用する権利を承諾するものです。

第2条禁止事項 本テキストに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本テキストから得た情報を、乙の書面による

事前許可を得ずして出版・識演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に本テキストを第三者に渡すことは厳しく禁じます。

カズヤ ブラックジャックで負けないための攻略方法

第 3 条 契約の解除

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第 4 条 損害賠償 甲が本契約の第 2 条に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、その違約金として、違約件数と販売価格を乗じたものの 10 倍の金額を支払うものとします。

第 5 条 責任の範囲 本教材の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても乙は一切の責任を負いません。

☆ブラックジャック | 初心者がよく勘違いしているルール☆

ブラックジャックのルールについて紹介している多くのサイトや書籍では、ブラックジャックの目的についてまずこう語ります。

「21」を超えない範囲で「21」もしくは「21」に近づけること」

もちろんこれは間違いではありませんが、
私があなたへ一番初めにお伝えしたいブラックジャック最大の目的は、

「あなたがディーラーに勝つこと」 です。そのためには、

- ・まずあなたがバストしないこと。
- ・ディーラーより「21」に近づけるか、ディーラーにバストさせること。

※バストとはカードの合計が「22」以上。これらはあなたがブラックジャックをマスターする上で、非常に重要なことです。

でも現時点でこれらの意味を完全に理解する必要はありません。
この意味を理解できるのはほんの少しだけ後の話。

まずは、

「ブラックジャックはとにかく「21」に近づけるゲーム」

というあなたに染みついた認識を一度リセットして欲しいのです。

．．．

それではよろしいでしょうか？

このカテゴリで紹介するブラックジャックのルールは 世界のカジノどこでも通じる共通の王道ルールです。では早速始めていきましょう。

☆あなたの対戦相手は？☆

あなたの対戦相手はカジノのディーラーです。

同じテーブルにあなた以外、何人ものプレイヤーがいようとディーラー（カジノ側）とあなたの 1 対 1 の勝負だということを 覚悟してください。

「ディーラーが相手」と聞いて身体がこわばっていませんか？
そんなあなたはディーラーについてとても大きな勘違いをしています。だからまずはその「勘違い」を正してもらいましょう。

それは ディーラーに「強い」「弱い」という概念はい。
ということです。つまり、「あのディーラーは強いこのディーラーは弱い」

なんて言っているうちは、ブラックジャックのルールすら理解できていない。という恥ずかしい状況なのです。

☆ディーラーの特徴☆

実はカジノのディーラーは我々プレイヤーとは違い、
「もう 1 枚カードを引く」「カードは引かない」
というように 自分の意志でアクションを選択することができません。

なぜなら、「ディーラーはディーラー特有のルールの中で、決まった処理しかできないから。」

つまりディーラーなんて誰がやっても一緒。だから「凄腕ディーラー」なんて現実にはいないのです。

ひたすら機械のように決められたルールに従って カードを配っているだけなのですから。でもこの「ディーラー特有のルール」を知ることは、あなたが今後ブラックジャックの戦略を立てるために必要不可欠な要素。

これはとても重要なのでページを改めて紹介したいと思います。

☆ブラックジャックの基本ルール☆

「ディーラー特有のルール」についての説明は先に回すとして、ここではブラックジャックの「超」が付くほど基本的なルールを紹介します。

トランプゲームでブラックジャックをしたことがある方なら 流し読みでも理解できる内容ですが、カジノ特有の内容も含まれているので飛ばさずにお読みください。

カードの数え方

カードの数え方もご存知の通りで間違いありませんが、念のため確認しておきましょう。 ・ 「2~T (10) 」はそのままカウント。

「T」は Ten の略です。「A」 ” エース” は「1」か「11」として任意にカウント。「J、Q、K」の絵柄カードは全て「10」とカウント。

「Joker」はありません。絵柄カードは「絵」なので”ピクチャー”とも呼ばれます。

★ブラックジャックの用語

ブラックジャックにおける簡単な用語も覚えておきましょう。

・Hit (ヒット) カードを 1 枚引く。 □ Stand、Stay (スタンド、ステイ) カードを引かない。 □ Bust、Busted (バスト) カードの合計が「22」以上。つまりブタ。

□ BlackJack

(ブラックジャック) 最初に配られた 2 枚のカードが「A」 + 「T、J、Q、K」の組み合わせ。最高の手 (ハンド) であり、”ナチュラル 21”とも呼ばれる。



Up Card（アップカード） ディーラー自身に初めに配られる 2 枚のカードの内 1 枚を プレイヤー全員に見えるよう表におくカード。

見えていないカードを” Hole Card（ホウルカード） ” と呼ぶ。

☆ゲームの進行☆

まず賭け金を決めて所定の場所へチップを置く（ベットする）ことから ゲームがスタートします。

「ベットする」ことがゲームに参加するという意思表示となります。

プレイヤー全員がベットを終えるとディーラーは プレイヤー全員とディーラー自身にカードを 2 枚ずつ配ります。

この時ディーラーの 2 枚のカードの内 1 枚は表にしておきます。アップカードでしたね。

プレイヤーはディーラーのアップカードからディーラーの最終的なハンドを 予想してヒット、ステイを選択して最終的な自分の手（ハンド）を作ります。 プレイヤーはバストしない限り何回でもヒットできます。

プレイヤー全員が順番にハンドを作り終えたら ディーラーはホウルカードをオープンしてディーラー自身のルールに従い 最終的なハンドを作り、各プレイヤーのハンドと比較して精算を行います。

☆勝敗と精算について ☆

・BlackJack の場合 あなたが BlackJack で勝った場合、配当は 1.5 倍となります。 10 ドル賭けていたら賭け金含めて 25 ドル

があなたのものになります。（1.2 倍の払戻しのテーブルもありますが不利なので避けましょう）

ディーラーよりも「21」に近い場合 1 倍の配当となります。

10 ドル賭けていたら賭け金含めて 20 ドル戻ってきます。3 枚以上のカードでの「21」は BlackJack（ナチュラル 21）に対しては「負け」です。・引き分け（プッシュ）

あなたとディーラー双方が BlackJack、もしくは「21」以下の範囲で 同点の場合は

「引き分け」。賭け金は減額なしでそっくりそのまま戻ってきます。

・ディーラーとあなた双方がバストの場合 ディーラーとプレイヤー双方がバストした場合は、ディーラーの勝ちとなります。

まとめ

ディーラーはあなた（プレイヤー）のように自らの意志で「ヒット」「ステイ」などのアクションを選択することができない。

プレイヤーははじめに配られた 2 枚のカードとディーラーの アップカードの状況からヒッ

ト、ステイを選択する。

次はディーラー「特有のルール」について具体的に 説明していきます。

これを知れば冒頭でお話しした 2 つの重要事項の意味も理解でき、ブラックジャックにおけ

る戦略（セオリー）にも気付くことができます。

・ディーラーは自分の手持ちカードの合計が「17」以上になったらステイする（カードを引かない）。

これらのルールはブラックジャックのテーブルにも記載 されていることが多いです。



上記 2 つのルールがあるからディーラーは自らの意思で 「ヒット」「ステイ」という選択が出来ません。

だからディーラーの最終的なカードの合計数は 必然的に決まってしまうとも言えます。

「

17」「18」「19」「20」「21」「22 以上（バスト）

ディーラーの「手（ハンド）」は簡単に言うと 上記の 6 種類しかありません。

しかもゲーム中はディーラーに配られた 2 枚のカードの内 1 枚を プレーヤー全員に見えるよう、場に晒すアップカードがあるため 圧倒的にディーラーが不利なのです。

相手がディーラーでも、断然勝てそうな気になりませんか？

☆ディーラーに唯一有利な点☆

これまでディーラーは圧倒的に不利なことを説明しましたが、実はディーラーに有利なことが” たった一つだけ” あるのです。

これはブラックジャックにおいて最も重要なルールです。

- ・ディーラーとあなた双方がバストした場合はディーラーの勝ち「ふーん」くらいにしか思わないかも知れませんが・・・（汗）。

このことがブラックジャックの戦略を立てる上で、超基本的な考え方になるので流さないでくださいね（笑）。

念のため説明するとあなたが「22」でディーラーが「25」でもバストはバスト。ということでディーラーの勝ち。

またあなたが「22」でディーラーも「22」という場合も引き分けではなく、これまたディーラーの勝ちとなります。

☆ディーラーのアップカードで状況判断☆

これは非常に重要なことで、ディーラーに「勝つ」ためには十分このことを理解する必要があります。

どういうことかというと、ディーラーはディーラー特有のルールに縛られている以上、最終的な手は「17」「18」「19」「20」「21」「22以上」という6種類しかありません。

だからディーラーのアップカードが例えば「6」で、ディーラーにバストの可能性がある場合、あなたの最初の手が「12」という弱いハンドだったとしても、あなたはバストの危険を冒してまで強い手を狙う必要は無いということです。

つまりこのような状況の場合、あなたはステイしてディーラーのバストを待つことがブラックジャックのセオリー（戦略）なのです。

でも・・・、こんなときはガッツリ負かしてやろうと思ってヒットしたくなりませんか?? 初心者のときの私なら間違いなくヒットします（笑）。

でもちょっと考えれば、無理にヒットして「19」「20」といった強い手を作って勝つのも、ディーラーがバストして勝つのも「勝ち」には変わらないことに気づけるはず。

だったらディーラーのアップカードが弱くバストの可能性がある場合は、

「念のため 21 に近づけよう」とか「いい手で負かそう」とするのではなく、優先すべきこ

とは”自分のバストのリスクを避ける”ということです。

そしてブラックジャックで勝つためにあなたが最も警戒すべきことは、「プレイヤー、ディーラー双方バスト」してプレイヤーが負けるというパターンだということを覚えておいてください。

※ただし、ディーラーのアップカードが強くバストする可能性が低い場合（「10」「J」「Q」「K」「A）は自分がバストする危険を冒してでも

「17」以上の手を作るしかない場合もあります。

スプリット (Split) について

スプリットもダブルダウン同様にあなたへ 2 枚のカードが配られた時点でその権利を行使することができます。

“Split” には「分割する」「割く」という意味があり、配られた 2 枚のカードが同じ数字だった場合それを 2 つに分割して、それぞれ独立したゲームとしてプレイすることができます。

スプリットを行使すると分割したカードそれぞれにカードが 1 枚ずつ配られます。

スプリット後はダブルダウンとは違いヒット回数に制限がないため、新たに 2 つのゲームを独立して再開させることとなります。



スプリットした場合、当初支払った賭け金と同額のチップを分割した方にも賭ける必要があります。

でもダブルダウンのように賭け金を倍にするという意味ではなく2回分のゲームを同時に行うということになります。

基本的な考え方としては最初に配られた2枚のカードでは勝てそうにないとき、またはディーラーのアップカードからディーラーにバーストの可能性が高い場合です。

スプリットの意志表示も当初の賭け金と同額のチップを元の賭け金の横に差し出すだけで成立します。

ただし、「4」のペア、「5」のペアの場合はダブルダウンと間違える可能性があるため、口頭で確認される場合があります。

サレンダーについて

サレンダー (Surrender) は「降参する」「放棄する」という意味の通り、ディーラーのアップカードが強く、

あなたに配られた 2 枚のカードが非常に弱い（「15」や「16」）場合、賭け金の半分を差し出す代わりに そのゲームを放棄できる権利です。

ヒットもスタンドもせずカードを配られた時点でサレンダーを宣言すると賭け金の半分を返してもらってゲーム終了となります。

サレンダーを採用しているカジノが少ないため、使う機会が少ない権利でもあります。

その他、損する戦略オプション

ここまで BS に記載されているオプションについて紹介してきましたが、実はこのほかに「インシュランス (Insurance)」と「イーブンマネー (Even Money)」というものがあります。

しかし確率論的に、行使すると「絶対的に損」なため基本的には必要ありません。

ですので覚えなくてもいいのですが、

「インシュランスを使っておけば！」 「イーブンマネーを宣言しておけば！」

と後悔することもしばしばありえるわけで、「確率に縛られ過ぎもゲームを思いっきり楽しめない！」という方もいらっしゃると思うので一応説明しておきます^^

インシュランス (Insurance)

インシュランスとは「保険」という意味。

ディーラーがブラックジャックの場合、あなたが負ける可能性が高いので、「保険金を支払って自分の賭け金を守る」というものです。

プレイヤー全員にカードを配り終え、ディーラーにも 2 枚のカードが配られた時点でディーラーのアップカードが「A」の場合、ディーラーに BlackJack が成立している可能性が高いです。

このときディーラーはゲームを開始する前にプレイヤー全員にインシュランスの権利を行使するか訊ねてきます。

ここでインシュランスを行使すると、あなたは当初のベット額の半額を「保険料」として新たに支払う必要があります。

例えばあなたが当初 10 ドル賭けていた場合は、その半額の 5 ドルを保険料として差し出します。

プレイヤー全員のインシュランス行使の意志を確認したらディーラーはプレイヤーに見えないようハウルカードを確認します。

BlackJack が成立していた場合には当初の賭け金は没収。

でも保険金の 10 ドルが支払われ保険料の 5 ドルも戻ってきます。つまりあなたはプラスマイナスゼロの収支となり、当初の賭け金は「守られた」ことになります。

BlackJack が成立していなかった場合は保険料の 5 ドルは没収。その後、通常のゲームを継続します。つまり保険料の 5 ドルは「掛け捨て」ということです。

なかなかおもしろいオプションですが、「確率論的に言えば必ず損をする」ということを念頭に置いた上で、行使するか？しないか？の判断をしてください。

イーブンマネー

イーブンマネーはインシュランスと同じです。
ただ一つ違う点はあなたの 2 枚のカードですでに、BlackJack が成立しているということで
す。

でもせっかく BlackJack が成立しているにもかかわらず、ディーラーも BlackJack だった場合「引き分け (Push)」となり、あなたには賭け金そのまま返ってくるだけとなります。

でもここでイーブンマネーを使うと、ディーラーに BlackJack が成立していようがまいがあなたは確実に 1 倍の配当を得ることができるため「イーブンマネー」と呼びます。

確実に 1 倍の配当を確定させるか？ ディーラーが BlackJack でないことを見越してイーブンマネーを使わず、1.5 倍の利益を狙うか？ という戦術オプションです。

イーブンマネーを使った場合、例えばあなたが当初 10 ドルベットすると、保険料は半額の 5 ドルです。

もしディーラーに BlackJack が成立していた場合、勝負は自体は「引き分け」なので元の賭け金の 10 ドルが帰ってきます。更に保険料とその 1 倍の保険金合せて 10 ドルがあなたの手元へ。

つまり 10 ドルのプラス収支となります。

BlackJack が成立していない場合、保険料は没収されマイナス 5 ドル。でもあなたの BlackJack により、賭け金の 1.5 倍の払い戻しで 25 ドル 得ることができます。

元の賭け金 10 ドルと保険料の 5 ドルを差し引いて結局 10 ドルのプラス収支となります。

☆ブラックジャックの実際のゲーム進行☆

ここから、あなたがカジノでブラックジャックの席についても焦らず、リラックスして楽しめるようゲームの基本的な流れを一通り説明していきます。

ゲームの進行

1. テーブルのベット金額とルールを必ず確認する まずは賭け金（ベット金額）を決めます。

これはテーブルごとにマックスベット（最大賭金）と ミニмумベット（最低賭金）が設定されています。 ※全てのテーブルが同じ金額設定ではないので注意！

同時にルールを確認することも重要で、同じカジノでもテーブルによって異なる場合があるので 必ずチェックしましょう。

あなた（プレイヤー）に不利なルール項目が多く設定されているテーブルは 基本的に避けることが「勝つ」条件の一つです。

2. ベットする（ゲーム参加の意思表示）

賭け金を決めたらテーブルの所定の位置へベットします。 この”ベット” するという行為が

「ゲームへ参加」するという 意思表示となります。

ディーラーはプレイヤー全員がベットし終わると、それぞれのプレイヤー、ディーラー自身にカードを 2枚ずつ配ります。

ディーラーに配られるカードの 1 枚はプレイヤー全員に見えるよう、表向きに配られます。このカードをアップカード (Up Card) といいます。

もう一枚の伏せてあるカードをホウルカード (Hole Card) といいます。

3. ディーラーのアップカードが「A」の場合
ディーラーのアップカードが「A」の場合、ディーラーに BlackJack が成立している可能性が高いです。

この場合、ディーラーはプレイヤー全員に インシュランス (Insurance : 保険) を適用するか訊ねてきます。

あなたがインシュランスの権利を行使するなら、ここで当初のベット額の半額の保険料を下図のエリアに差し出します。



4. ディーラーのホウルカードを確認

ディーラーのアップカードが「10」だった場合、若しくは「A」の場合にプレイヤー全員のインシュランスへの意志を確認した後、

ディーラーはホウルカードをプレイヤーに見えないよう確認します。

ディーラーが BlackJack の場合はここでインシュランスと、各プレイヤーの勝敗の清算を行ってゲーム終了となります。

あなたも BlackJack だった場合は Push（引き分け）となり賭け金はそのまま戻ってきます。

ディーラーのハンドが BlackJack でない場合はゲーム続行となります。

5. プレイの順番

プレイはディーラーから見て左側隣のプレイヤーから順番に始まります。ヒット、ステイ、ダブルダウン、スプリット、サレンダーの選択肢から選んで自分の手（ハンド）を確定させます。

6. サレンダーの意思表示

サレンダーを行使する場合は 左から右へ人差し指で線を引くように「降参」という意志をディーラーに伝えましょう。

ちなみにディーラーが BlackJack をチェックする前に サレンダーが可能なルール（アーリーサレンダー）と、BlackJack ではない場合のみ可能なルール（レイトサレンダー）に別れます。

アーリーサレンダーはカジノ側に不利なので このルールを採用しているカジノは稀です。

7. ダブルダウン、スプリットの意思表示

ダブルダウンは当初にベットしたチップと同額のチップを その隣に置くだけで成立します。

スプリットもダブルダウンと同様にチップを隣に置くだけでしたね。 ※ダブルダウンと混同する場合は口頭で確認されることもある。

8. ヒット、スタンドのジェスチャー

ディーラーのアップカードからディーラーの最終的な「手（ハンド）」を予測して、ヒットかスタンドを判断します。

ヒットしたい場合はディーラーに対して人差し指と中指の 2本の指を「クイックイツ」と掻き寄せるようなジェスチャーで、「頂戴」という 意思を伝えます。

スタンドの場合は手のひらを下に向けて振り、「要らない」という 意思を伝えます。簡単ですね。

ただこれらは国によってカジノによって若干異なります。上記のジェスチャーであればほとんど通じますが、 テーブル他のプレイヤーを参考にするのが無難です。

9. カードオープン

プレイヤー全員にカードを配り終わったらディーラーのホウルカードをオープンします。この時点でディーラーの2枚のカードの合計が「17」未満であればディーラーは新たにカードを引きます。

ディーラーの手持ちのカードの合計が「17」以上になるまでカードを引き、「17」以上に達した時点でディーラーの「手」が決まります。

10. 勝ち負けの判定と清算

ディーラーのハンドが決定したら各プレイヤーのハンドと較べて、勝ち負けの清算を行います。

これがブラックジャックの基本的なゲーム進行となります。実際のカジノではヒット、スタンドのジェスチャーは多用するので、しっかり覚えましょう。

早速、実践してみよう！

さて次はいよいよ「実践編」となります。

ここまで学んできたブラックジャックの知識を使って 実際にブラックジャックをプレイしてみましょう。

とはいってもまだ「リアルカジノ」ではなく練習です。実際に何度かプレーをして慣れてきたら、次の戦略を取り入れていきましょう！

さて、ここからは更に必勝に近づけるための資金管理（マネーマネジメント）について、学んでいただきたいと思います。

マネーマネジメントとは・・・

カジノでゲームをする金額だけではなく、普段の生活にかかる資金からどの程度カジノ投資に活用できるかを事前に決めておくこと、またカジノでもどの程度使うかを事前に予定しておくことです。

一般にギャンブルでの必勝法といいますと、これまで話してきた様な勝つための手法・ノウハウばかりがクローズアップされることが多いのですが、実際のところはこの資金管理（システ

ムベット) によるところが、勝つことに非常に大きく左右してきます。

ここでは 11 種類のマネーマネジメントをお伝えいたしますが、先にお伝えしておきますと、勝つだけであれば

一番最初にお伝えする『1-3-4』ベットシステムだけで十分です。慣れてきてから、色々なシステムベットを使い分けて、更に効率よく勝率をあげていってください。

慣れの基準は、最低 100 戦以上を目安にされることをお薦めいたします。

それでは、マネーマネジメントについて学んでいきましょう！

これが実はとても大切で忘れがちなことなのです。私もそうですが、カジノで勝ち続けていたり負けが予想を超えると事前に決めていたルールを破ってゲームを継続してしまうことがあります。

こういったルールをしっかりと意識することと、実際にカジノでゲームを始めた後もルールを徹底する自制心の二つがマネーマネジメントと言えるでしょう。

◎統計に打ち勝つことは案外容易なこと

当テキストでも大切な視点として何度もお伝えしている「確率論」ですが、はこれは短期決戦、いわゆる少ないゲームで結果を出すプレースタイルの際にはそれほど影響しません。

こういった確率論の背景には「大数の法則」つまり、ダイスを何回もふると、6の目がでる回数は6分の1に近づいているといった規則性から「長時間プレーをすれば結局はカジノ側がかつ数字になっている」としています。

逆に言えば、それほど長時間プレーをしない場合、カジノ側の優位性は現実的にかなり小さい数字であることから影響を受ける可能性も限りなく小さくなるとも言えます。

◎マネージメントを導入する前の基礎

マネーマネージメントはベット額をシステマティックに進めていくことで大きく勝ち、小さく負けることを目指すマネージメントシステムです。

これから全 11 種類のベットシステムを紹介しますが、その前にマインドセットとして知っておくべき基本的な視点を紹介していきます。

大原則として以下 3 つの視点をまずは意識すること

とから始めましょう。**ベットしていい資金は負け**

ても生活に支障がでないレベルにする

どんな投資にしてもギャンブルにしてもお金を増やすためには必ずそれを失うリスクも伴います。カジノでは実際にいい流のゲームは全体の 30%とされています。

わたし達は残り 70%は負けかイーブンのゲームを繰り返すことが余儀なくされている事実から、負けてもいい状況を用意しておくことが必要になります。

また、割り出した資金の中から使用する額は 50%までに抑える
どんなに計算した戦術を用いても、統計や過去のデータを基にした
戦略になりません。そこは
100%の勝率ではありません。

そのため念入りに準備しても負ける可能性をさらに意識すること
で全体の負けを防止していくことが必要になります。

月に予定している参加日数やゲーム数を基に 1 回のベット額まで
設定する勝ち続けているユーザーの多くは 1 か月にオンラインカ
ジノに参加する回数を計画して実行しています。（例：毎週金曜日
とか）

また、一回参加した際には戦略に沿って何回ゲームをするかも設定
しています。（例：BJ を 50 回やることでペイアウトが 101%を予
定している）

それに対していくら資金を割り当てることで簡単な PDCA サイク
ルを回しているのです。

（1 回のベットは 1 ドルで 50 回やるので 1 回のゲーム参加では
50 ドルを用意する）まとめると、月に 5 回オンラインカジノをや
り、1 回やることに 50 回のゲームを行う方がいる場合は・・・

詳細は以下表にまとめましたが、月に 500\$あれば負けてもまっ
たく問題ないマネーマネジメントと言えるでしょう。

一か月の回数	5 回
1 回の参加した時のゲーム数	50 回
1 回のゲームに対するベット数	1 ドル
1 が月の利用額を資金全体の 50%とした場合の全資金額	500 ドル

オンラインカジノに限らず、FX や株式投資などお金を使ってお金を増やす手法全般で役立つとされているマネーシステム。

よくかけ方のシステムとも言われますが、これらについて本当に意味のある有益な情報はなかなか紹介されることがありません。

もちろん、マネーマネジメントシステムは 100 発 100 中の方程式ではありませんが、それらを適切に使用することでかなり高い確率で持続することは実績で証明されています。

実際に私たちブラックジャックプレイヤーが使用している 11 のマネーシステム・・・

1. 1 - 3 - 4 システム

スタート時にまず 1 ユニット（任意でプレイヤーが決めた 1 回のベット額です）をベットします。勝ったら倍になったユニットにもう 1 ユニット追加します。

合計 3 ユニットで 2 回目のベットを行います。さらに勝ったら 6 ユニットになったチップスから 4 ユニットのチップスをさらにベットします。

※この時点で利確です。

4 ユニットで勝ったら、再度 1 ユニットに戻してプレイを再開します。途中で負けた場合も同様 1 ユニットに戻してスタートします。

2. 1-3-2-6 システム

これは BJ プレーヤーの中では50万ドル勝ったネヴァタ人のシステムとしてかなり有名なマネーシステムです。

基本的には1-3-4 システムと同じですが、3ユニットベットで勝利した後は利確ユニット数が違います。3回目のベットが統計的に勝ちにくい状況下ではこれがいいでしょう。

3. 1-3-2-5 システム

1-3-2-5 システムと同様のベット方式になりますが、4回目のベット額を小さくしています。カードカウンティングや場の流れから3・4回目のゲームが勝てそうにないと思得る場合は利用します。

このベットシステムは数年前話題になったテッドマトソン著作の本でも効果が高いと推奨されていた手法です。

4. 1-2-3-5-5-5 システム

基本的には前述しているシステムと同じように1ユニットからスタートします。勝てばそ

れをそのままベットします。3回目のベットから小さく利確を始めます。(1ユニット分)

5ユニットベットで勝利した後に大きく勝ちを連続させていきます。勝率として連続して勝ち始める可能性が高い場面では効果があるベットシステムです。

また、小さく利確を積み重ねていくことから継続してゲームを進めたい場合にも統計的にはイーブンに持っていきやすい方法です。

5. **1－2－3システム（ミニ階段連続式）** この方式は1－2－3－5－5－5システムと

似ています。導入方法は至ってシンプルで、ゲームに勝つたびにユニットを1つずつ増やしていく方式です。

3ユニットベット時からイーブンになり、その後は徐々に利確数が大きくなっていきます。自分なりのベットシステムがまだうまく構築できていない方はオススメです。

6. **HNLシステム（ホノルルシステム）**

この手法はハワイのホノルルからラスベガスへ通う人たちの独特な手法として有名なベット方法とされています。システムはシンプルは1－3－5方式の連続サイクルです。

1ユニットからベットして勝ち進めば3ユニット、5ユニットとベット額を増やしていきます。5ユニットまで行くと今度は1ユニットに戻して利確してしまうというものです。

とあるブラックジャックプレーヤーがこの手法をテストした際、15000回のゲームを毎回同じベット額でプレイした場合とHNLシステムでプレイした場合では以下の様な差があったと報告しています。

7. ジグザグ・システム

ジグザグ・システムはゲームの大半をこのシステムで過ごす事からそう呼ばれています。統計的には勝ち負けが延々と続く時間が75%程度あるとされています。

この時間をなるべく少ない損で判断していくこともとても大切なことです。そこで優れたブラックジャックプレーヤーや以下のようなベットシステムを構築して判断をしています。

勝った場合と負けを見極める場合の2つの目的として使用されますので以下場合を分けて説明します。

勝った場合のベットシステム

1ユニット→2ユニット→1ユニット・・・1-2-1を繰り返します。

負けを見極めるためのベットシステム

1ユニット→2ユニット→3ユニット→1ユニット・・・1-2-3-1で判断します。負けは負けたユニットを次のベットに上乗せして3ユニットで負けたら1ユニットに戻します。

※4連続で負けるようであればそうそうにゲームを切り上げるのが得策です。

8. リトリートシステム-R=S システム-

リトリートシステムはリバース、もしくはシクエンシャルシステムとも呼ばれる撤退・後退に関するリスクを高く見積もったシステムになります。それらを総称して R-S システムと呼んでいます。

具体的には「2-1-2-3-4-5-6-・・・」というベット戦略を取ります。最初の賭けが「2」ユニットである点がポイントになります。

2ユニットベットで勝利した際は1ユニットを残して続けます。その後は勝ち続けたらその分ユニットを1つずつ追加していく方式を取ります。これは勝ちの流れが続いた時に最大化するための工夫です。

ジョン・パトリック著作で紹介されていた「ニューヨーク・システム」と非常に似ていますが、ユニットを勝ち続けるたびに増やす事を視野にいれていません。守りを重視しながら勝つ時は一気に大きくするシステムと言えます。

9. パーレイシステム

パーレイシステムは非常にシンプルなマネーマネジメントシステムです。一般のかけ事にもよくある方法で「元金」と「配当」をすべて次のゲームに賭けることを意味します。

具体的には「1-2」の繰り返しを行うだけのベット方式です。1ユニットで勝ったら次に2ユニットでベット。それに勝ったら再度1ユニットに戻るといったパターンです。

もし最初のベットで負けてしまったらまた1ユニットをベットするということで紹介しているシステムの中でも最も消極的なマネーシステムです。初心者がゲームになれるまではいいかもしれません。

10. 50%累進システム

このシステムはユニットを用いるのではなくドル単位でのベットを行うこととなります。スタートを5ドルとして設定した場合は「5-7-10-15-25-35-50-75」と50%ずつベット額を挙げていきます。

ほかのシステムと同じく負けた時点でスタートの5ドルに戻るわけですが、このシステムは守りを大切にしたいが常に勝てそうなチャンスを狙っている中級者向けのシステムと言えます。

11. グランド・マーチンゲール

再度に紹介するグランマーチンゲールシステムですが、これは俗にいうダブルアップシステムと一緒です。負けたら、元金を倍にして賭ける倍々ゲームのようなものです。

ユニットで説明すると「1-2-4-8-16-・・・」といった具合に負けたら倍にしていきます。ゲームに勝ったらその時点で1ユニットに戻すというやり方です。

1度でも勝てば損金が帳消しになるため統計的にはいつかは勝てるシステムですが、ベット額の上限のために途中で損が確定するケースも想定しておく必要があります。

私やある程度の資金力を持ったプレイヤーでしたらマネージシステムも簡単にゼロに戻せるものを好みます。

以上が「ブラックジャックで負けないための攻略方法」です。

皆様の人生がより豊かになることを心よりお祈り申し上げます。

最後に

ギャンブルなので余剰資金で楽しみましょう。
どんなビジネスもギャンブル、余裕のある資金で楽しみながらやるのが人生を豊かにしてくれます。

ブラックジャックができるおススメのオンラインカジノはこちらのページでご紹介しています

↓↓

[おススメのオンカジサイトのご紹介](#)

僕、カズヤのコンテンツ一覧です。ぜひごらんください。

↓↓

<https://linktr.ee/kazuya07>